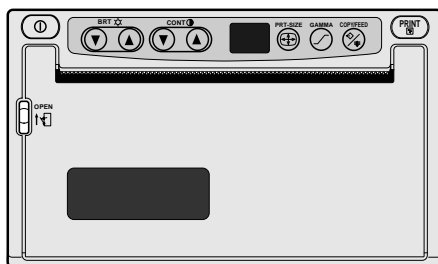


mitsubishi

ビデオコピープロセッサ

取扱説明書

P91



このたびは三菱ビデオコピープロセッサをお買い上げいただきありがとうございます
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください

お読みになった後は保証書と共にたいせつに保管してください
万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとききっとお役にたちます

この取扱説明書は自然保護
のためエコマーク認定の再
生紙を使用しています。



1 もくじ

1	もくじ	1
2	安全のために必ずお守りください	2 ~ 6
3	各部の名称とはたらき	
	前面	7
	後面	8
4	記録紙のとりつけかた	9 ~ 10
5	接続例/スイッチの設定	
	コンポジットビデオ信号機器	11
6	プリントのしかた	12
	リモコンを使うとき	13
7	プリント画像の調節	
	ブライツネス/コントラストの調節	14 ~ 15
	ABCモード(Automatic Brightness Control)	15
	ABCモードの設定解除	16
	カーブ選択	16
	プリントサイズ選択	17
	設定のリセット	17
8	特殊機能	
	ボタンのロック	18
	設定値/累積印画枚数の印字	19
9	エラー表示について	20 ~ 21
10	モードスイッチの機能	22 ~ 24
11	状態/モード一覧表	25
12	クリーニングペーパーの使い方	26
13	お手入れ	27
14	仕様	28
15	アフターサービス	29

本機を使用中に万一発生した故障等の不具合によりプリントされなかった内容の補償についてはご容赦願います。

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	---	---	-------------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

 絶対に行わないでください	 絶対に分解・修理はしないでください	 絶対に触れないでください
 絶対に水にぬらさないでください	 絶対にぬれた手で触れないでください	 必ずアース線を取り付けてください
 必ず指示に従い、行ってください	 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください	

お買い上げの機種には、該当しない説明も含まれています。

警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理をご依頼ください。



キャビネット(天板)をはずしたり、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。



不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。



内部に異物を入れない

特にお子様にご注意を

用紙排出口や通風孔から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。



警告

電源コードを傷つけない

重いものをのせない 引っ張らない ねじらない
無理に曲げない 加熱しない 加工しない

コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。
電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。



禁止

花瓶やコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

水でぬらさない

火災や感電の原因となります。
雨天時の窓辺での使用は、特にご注意ください。



水ぬれ禁止

正しい電源電圧(交流100V)で使う

交流100V以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



交流100V

落としたり、キャビネット(天板)を破損した場合は使わない

火災や感電の原因となります。



使用禁止

付属のACプラグ2P変換アダプタを使用するときは確実に接地する

確実に接地せずに使用すると、感電、火災、故障の原因となります。また、アース線と異電極との接触などにより、感電、火災、故障の原因となります。



確実に接地する

注意

設置時は、次のような場所には置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 風通しの悪い狭い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 直射日光の当たる場所や熱器具の近くなど、高温になるところ
- 硫化水素、酸化イオウなどが発生する場所
- 振動がある場所

このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどにより、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。



設置禁止

通風孔をふさがない

風通しの悪い狭い場所に置かない
テーブルクロスなどをかけない
通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

接続したまま本機を移動させない

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続機器とのケーブルをはずしたことを確認してから移動させてください。



禁止

⚠ 注意

電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを持つ

本機の上に重いものを置いたり、本機の上にのらない

特にお子様にご注意を

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



禁止

プリント用紙排出口に手を入れない

特に小さなお子様にご注意を

プリント用紙排出口内部には用紙を切るためのカッターがついていますので、手を切るなどのけがの原因となることがあります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

本機内部のサーマルヘッドには触れない

高温になっている場合があるため、触れるとやけどやけがの原因となることがあります。



接触禁止

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



プラグを抜く

電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する

ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。



ほこりを取る

日本国内専用です

信号方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。
This VIDEO COPY PROCESSOR set can not be used in foreign country as designed for Japan only.



日本専用

紙詰まりの処置の際は、取扱説明書で指定している場所以外には触れない

内部には高温の部分があり、触れるとやけどの原因となることがあります。



接触禁止

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

5年に一度は内部の掃除を依頼する

販売店にご依頼ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、販売店にご相談ください。



内部掃除

お願い

2

<p>露付きが起こった場合は (本機の内部に水滴がつくことを露付きといいます)</p> <p>露付き状態で本機を使用すると、プリント用紙の表面に湿気や露が付き、印画品質の低下や紙づまりの原因となります。露付きが起こりそうなときは、電源を入れて2時間以上おいてからご使用ください。</p> <p>プリント用紙が装着されているときは、取り出してから電源を入れてください。</p> <p>露付きは次のようなときに起こります。</p> <ul style="list-style-type: none">・部屋を急激に暖房したとき・エアコンなどの冷風を直接当てたとき・本機を寒いところから暖かいところに移動させたとき <p>露付きしたプリント用紙は正常にプリントできない場合がありますので、新しい用紙と取り替えてください。</p>	<p>接続機器、接続ケーブル</p> <p>本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」をよくごらんください。接続ケーブルは指定のものをご使用ください。</p>
<p>置き場所、取扱い</p> <p>水平においてください。傾いた状態や不安定な場所で使用すると、本機に悪い影響を与えます。</p> <p>殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。</p> <p>周囲温度は5 ~ 40、湿度は35% ~ 80%でお使いください。本機をシステムラックに組み込んだときは、ラック内の温度、湿度も上記の範囲でお使いください。</p> <p>本機の上に重いものを載せないでください。キャビネットを傷めたり、故障の原因となります。</p> <p>プリンティングユニットを引き出したときは、ユニットを押さえつけないでください。故障やプリント不良の原因となります。</p>	<p>プリント中は</p> <p>本機を動かしたり、前面ドアを開けたりしないでください。プリント不良の原因となります。</p> <p>プリント用紙を引っ張らないでください。プリント不良やエラーの原因となります。</p>
<p>お手入れ</p> <p>前面パネル部分の汚れは柔らかい布でふいてください。</p> <p>汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよくしぼって汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。</p> <p>化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。</p> <p>ベンジン、シンナーなどの溶剤は、使わないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。</p>	<p>プリント用紙、シートカートリッジ</p> <p>プリント終了後、ペーパーが紙出口に出てきたら、そのままにしておかず1枚ずつ取り出してください。そのままにしておくとしづまりの原因となります。</p> <p>プリント用紙やシートカートリッジに付着したゴミやホコリ、あるいは低・高温時における変形等のためプリント画の中に微妙な色抜けや色ムラ、スジ、シワが発生することがあります。</p>
<p>お手入れ</p>	<p>電源を切るときは</p> <p>プリント終了後に切ってください。プリント中に電源を切ると、プリントが中断し、紙づまりの原因となります。</p>
<p>お手入れ</p>	<p>サーマルヘッドの磨耗と交換</p> <p>サーマルヘッドは磨耗します。サーマルヘッドが磨耗すると鮮明な画像がプリントできなくなることがあります。このような場合はサーマルヘッドの交換が必要です。</p> <p>サーマルヘッドの交換は販売店にご相談ください。</p>
<p>お手入れ</p>	<p>VTRの画像をプリントする場合は</p> <p>静止画、特殊再生などのノイズの多い画像、画面が上下にゆれている映像をプリントしないでください。プリントが歪んだり、上部が曲がったりすることがあります。</p> <p>プリント中にVTRの特殊再生をしないでください。きれいなプリントができないことがあります。</p>

引っ越しや輸送のときは

シートカートリッジおよびペーパーカセット内のプリント用紙を取り出し、保護クッションを入れてから梱包してください。プリンティングユニットを固定できる機種の場合は、梱包前に輸送用固定ネジでプリンティングユニットを固定してください。

著作権

ご自身が制作、撮影した映像以外からのプリントは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

お知らせ

感熱紙について

付属のK91HG-CE1巻で約180画面プリントすることができます。

感熱記録紙の残りが約25cmになると感熱記録紙の端に色の帯が出ますので感熱記録紙の交換の準備をしてください。感熱記録紙の残りが少なくなると巻芯の凹凸の影響で均一にプリントされない場合があります。プリントされた紙を湿った手で持つと変色することがあります。

プリント中に紙が完全になくなった場合はプリント動作が停止し前面のインジケーターが“EP”を表示しますので新しく感熱記録紙をセットしてください。

画面をプリントした後の紙はなるべく直射日光など強い光の当たらない湿度の低い所で保管してください。専用記録ファイル等での保管をおすすめします。ただし保存状態により画面が退色する（白っぽくなる）ことがあります。

紙が揮発性有機溶剤（アルコール、エステル、ケトン類など）を吸収すると印画面が退色します。特にゼロテープ軟質塩などに密着させますと退色が早くなりますのでご注意ください。

感熱記録紙は指定以外のものは使用しないでください。感熱記録紙交換直後のプリント画2～3枚は、手のゴミや油などにより記録されない部分が出る場合があります。

紙は直射日光、暖房器等のそばをさけ、温度30以下湿度20～80%RHの冷暗所で保存してください。

低温の場所から高温の場所へ急に移動した場合、紙の表面に湿気または露が付き、印画品質の低下や紙詰まりの原因になることがあります。

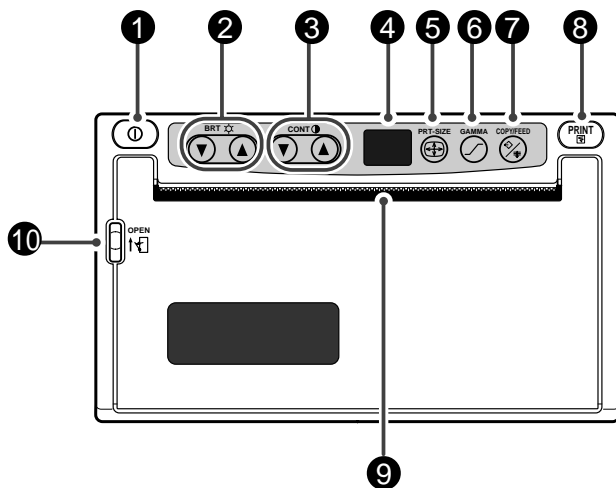
紙の表面に指紋、ゴミ等が付いた場合印画品質が低下することがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

3

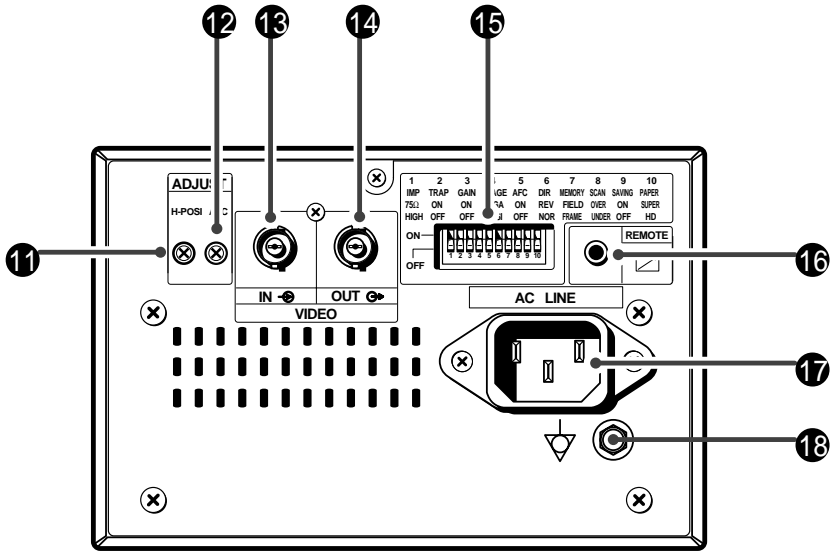
各部の名称とはたらき

前面



	名 称	機 能	参 照 ペー ジ
①	POWER(電源)ボタン	電源のON/OFF	12
②	ブライトボタン	ブライトネス調節	14・15
③	コントラストボタン	コントラスト調節	14
④	インジケータ	スタンバイ表示/ファンクション表示/ エラーメッセージ表示	14～21
⑤	プリントサイズボタン	プリントサイズ変更	14・15・17
⑥	ボタン	カーブ変更	16
⑦	コピー/フィードボタン	押し続けたとき：紙送り 押したとき：直前にプリントした画像を コピープリントする	12・14・15
⑧	プリントボタン	画像の記憶と印画	12・13
⑨	プリント出口/カッター	プリントアウト/用紙切断	12
⑩	レバー	ドア開	8・12

後面

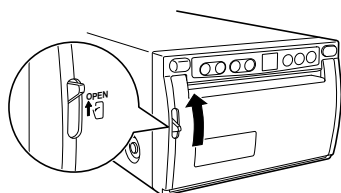


	名 称	機 能	参 照 ペー ジ
①	水平位置調整ボリューム	画像の水平位置調整	-
②	AFC 調整ボリューム	水平同期信号の自動追従	-
③	VIDEO IN コネクター (BNC タイプ)	ビデオ信号入力	11
④	VIDEO OUT コネクター (BNC タイプ)	ビデオ信号出力 (モニター出力)	11
⑤	MODE スイッチ	特殊機能選択	22 ~ 24
⑥	リモコン端子	リモートコントロール接続端子	13
⑦	電源端子 (AC LINE)	電源コードを接続する	11
⑧	等電位化端子	等電位化母線と接続する端子	-

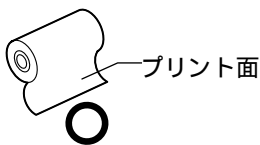
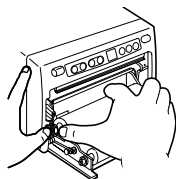
記録紙の表面に湿気、指紋、ゴミ等がついた場合、印画品質の低下及び印画時に騒音が生じることがあります。記録紙をとりつけるとき、紙面に指紋やゴミがつきますので、以下の手順でとりつけてください。

1 ドアを開ける

左側のレバーを
“ OPEN ”の位置に
押し上げます。
ドアが開きます。

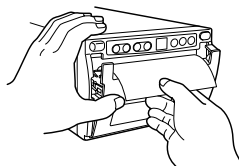


2 記録紙をとり付ける



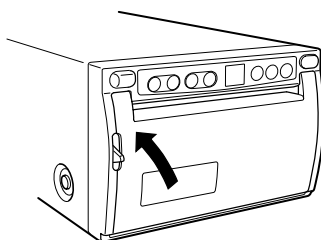
感熱記録紙のプリント面を上にして
入れます。逆に入れるとプリントさ
れません。

3 記録紙を引き出す

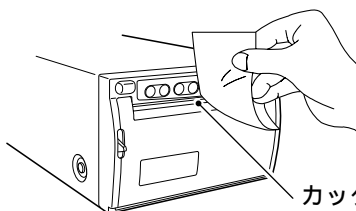


記録紙を手前に約
15~20cm引き出し
ます。

4 ドアを閉める


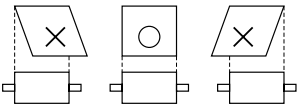
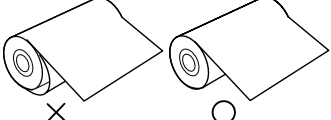


5 記録紙を切る



紙を右上にひねるよう
にしてカッターで
切ります。

記録紙をとりつけるときは、紙づまりをふせぐため、次の事項をお守りください。

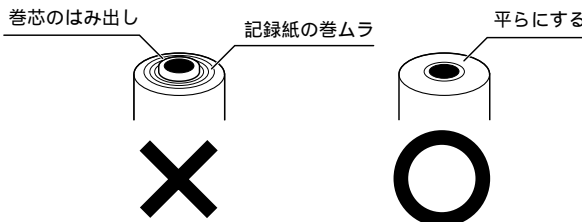
不良紙は使わないでください	折れたり、ぬれたり、シワになったり等の汚損した紙は使わないでください。
	
紙の平行度を調整してください	プリント出口から送り出された記録紙が傾いているときは、紙がまっすぐになるように調整してください。
	
紙をたるませないでください	紙にたるみができないように、きちんと巻いてからとりつけてください。
	

ご 注 意

記録紙を使用、保管するときは指紋、ゴミ、湿気等がつかないようにしてください。ゴムローラーにふれたり、表面にキズや汚れをつけないようにしてください。サーマルヘッド（カッターの奥側にあります）は高温になりますので、手をふれないようにしてください。

カッターには刃がついていますので手をふれないようにしてください。

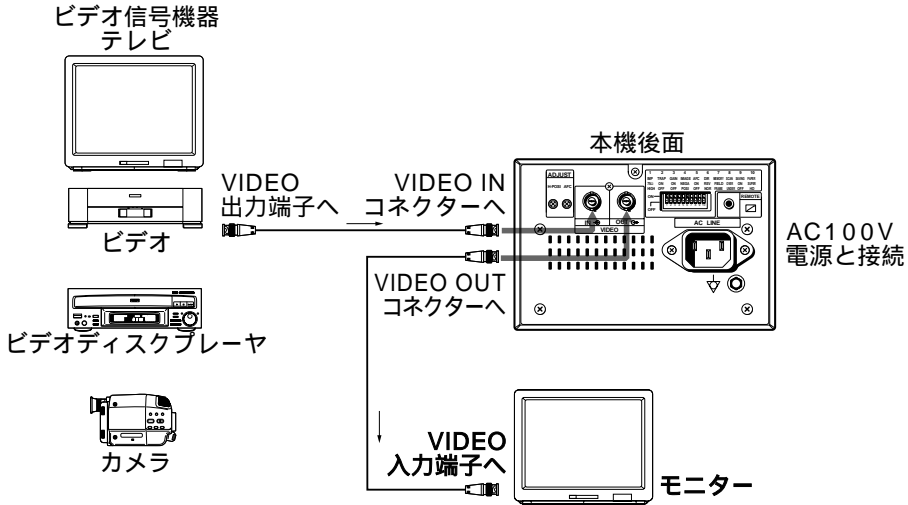
記録紙の端面（側面）が凸凹であったり、巻芯がはみ出していたりするとプリント後の紙送り量がばらつくことがあります。記録紙端面（側面）の凸凹、巻芯のはみ出しがある場合は、記録紙端面（側面）が平らになるよう補正してから、記録紙を取りつけてください。



各種コンポジットビデオ信号機器と接続できます。

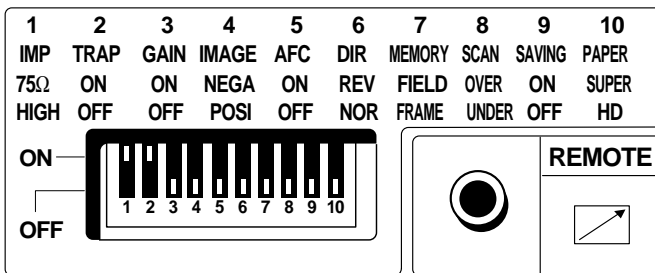
a 接続

- 1 接続機器と本機の電源を「切」にします。
- 2 以下のように各機器を接続します。



b スイッチの設定

後面のMODEスイッチの設定例を以下のように示します。
MODEスイッチの設定については22～24ページをごらんください。



SW-No	設定
1	75
2	ON
3	OFF
4	POSI
5	OFF
6	NOR
7	FRAME
8	UNDER
9	OFF
10	HD

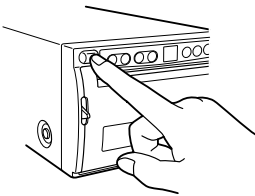
ビデオ機器は カーブ“2”を選びます。

カーブについては16ページをごらんください。

6

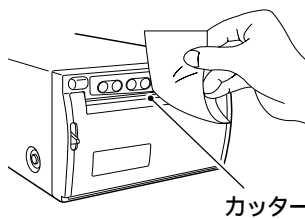
プリントのしかた

1 電源を入れる。



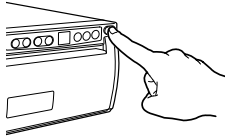
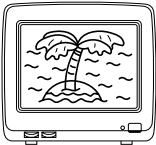
POWER ボタンを押して、電源を入れます。

3 プリント紙を切る。



プリントアウトされた紙を右上にひねるようにしてカッターで切ります。

2 画像をプリントする。



モニター画面にプリントする画像を映し、プリントボタンを押します。

プリントが終わるとブザー音（ピー）が鳴ります。

コピープリントについて

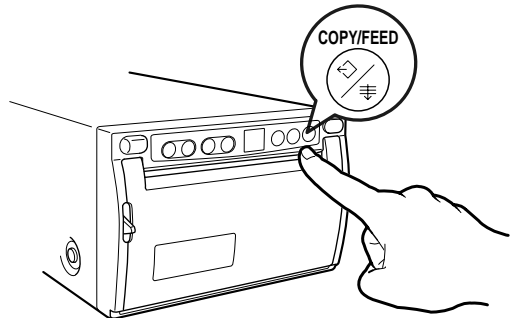
前面の COPY/FEED ボタンを押すと、プリントボタンを押してプリントしたものと同一画像をコピープリントできます。

COPY ボタンを押した回数の枚数だけコピーできます。

PRINT ボタンを押すと、コピープリントを中止します。

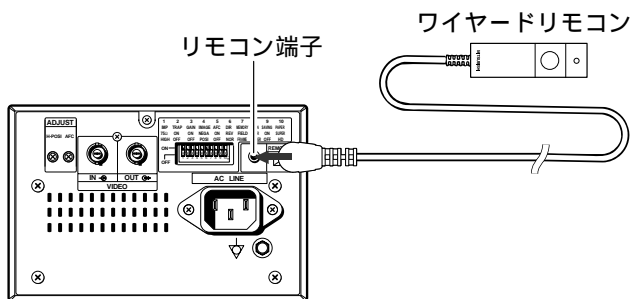
紙送り

前面の COPY/FEED ボタンを押し続けると、紙送りができます。



リモコンを使うとき

後面のリモコン端子にワイヤードリモコンを接続します。
リモコンのボタンを押すとプリントボタンと同様にプリントできます。



プリントについてのご注意

黒っぽい画面を何枚も続けてプリントすると、オーバーヒートして正常なプリントができなくなることがあります。(インジケーターに“EH”が表示され、プリントの濃度がうすくなります。)

この場合、オーバーヒートがおさまるまで、しばらくお待ちください。

プリントまたは、コピー中に記録紙を引っ張ったり、押したりすると、紙づまりの原因になります。

プリント、コピーがおわるまで記録紙に触れないようにしてください。

信号が入力されていない状態でプリントすると、印画面の下部に「NO SIGNAL」が印字されます。

記録紙節約モード

後面のモードスイッチで記録紙節約モード(SAVING 9)をONにすると紙送りの幅が通常よりも短くなります。記録紙を切断する前に、適切な位置で画像が切断できる様にCOPY/FEEDボタンを押して紙送りしてください。



7 / プリント画像の調節

ブライツネス・コントラストの調節


モニター画面を見ながら、プリント画のブライツネス、コントラストの調節ができます。

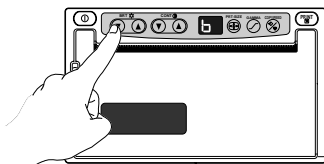
コントロールパネル





画像の調節にはブライツネス“BRT☀”の  ボタン、コントラスト“CONT☾”の  ボタンを使います。

1 調節したいボタンを押す。

ブライツネスを調節するときは、BRT☀の  ボタンを押します。選んだモードは、インジケータの左側に表示されます。




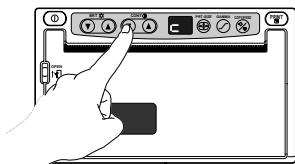
設定値を上げるときは  ボタンを押します。
設定値を下げるときは  ボタンを押します。

設定値はインジケータの右側の部分に表示されます。

例：ブライツ調節



コントラストを調節するときは、CONT☾の  ボタンを押します。選んだモードは、インジケータの左側に表示されます。

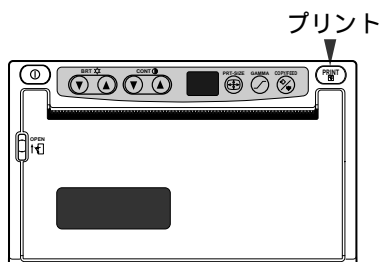


—は、“ ” で表します

設定値

設定範囲は - 9 ~ + 9 です。

2 設定値を記憶する。



設定した数値はプリントボタンを押すとメモリーされます。

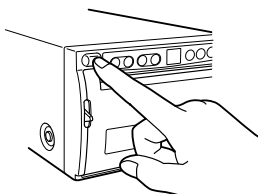
メモリーされた設定値は、電源を切っても消えません。

ABCモード (Automatic Brightness Control)


ABCモードでは、プリント画のブライトネスを自動で調整することができます。ABCモードを設定すると、PRINT ボタンを押すたびに、入力信号のブライトネスを自動的にチェック、調整します。

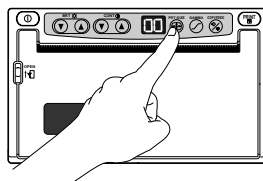
ABCモードの設定

1 電源を入れる。



2 PRT-SIZEボタンを押し続ける。

プリントサイズボタン(PRT-SIZE)“”を約3秒間押し続けます。






ブザー音が鳴り、LED表示が  から  に変わります。

ABCモードが設定されます。

ABCモードは電源を切っても設定解除されません。

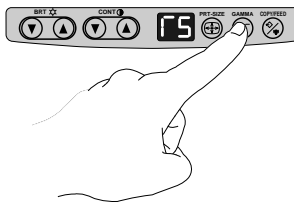
ABCモードの設定解除

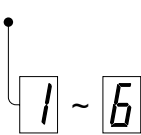
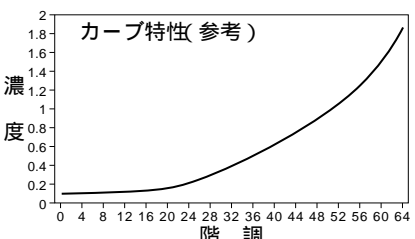
プリントサイズボタン(PRT-SIZE)“”を約3秒間押し続けます。
ブザー音が鳴り、LED表示がからに変わったら、ABCモードの設定は解除されています。

ガンマ()カーブの選択

カーブ(濃度一階調特性)を選択するモードです。

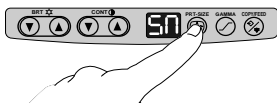
“GAMMA”ボタンを押す度にカーブの種類を示す、インジケータの数字が切り替わります。カーブを選んだ後で他のいずれかのボタンを押すと、選択した、カーブが記憶されます。



インジケータ/調整項目	調整内容
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">15</div> <p>カーブ設定</p> 	<p>接続機器に応じた最適なプリント画を得るために、カーブ(濃度一階調特性)を選択するモードです。6種類のうちプリント画に合ったものを選びます。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;">濃度</div>  </div> <p>通常はカーブ“5”を選んでください。 ビデオ機器はカーブ“2”を選んでください。 カーブ“6”を選ぶと、MODEスイッチの4番の設定に関係なく白黒反転プリントになります。</p>

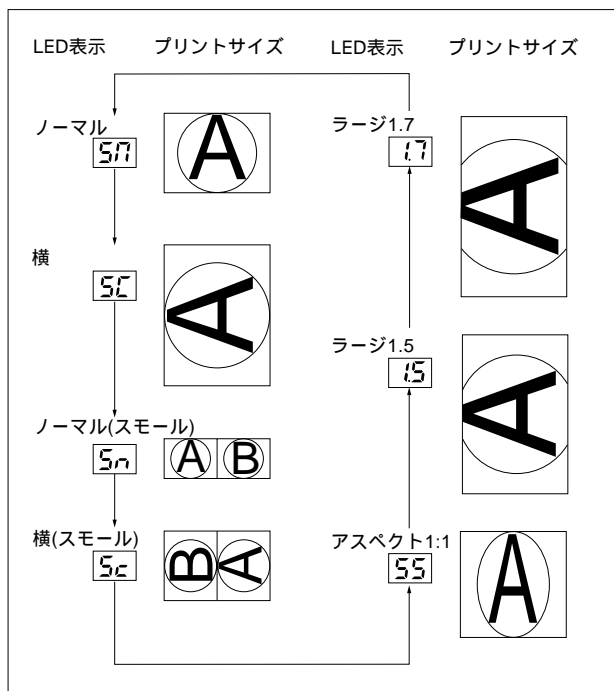
プリントサイズの選択

“ PRT-SIZE ”ボタンを押して、プリント画のサイズを選びます。



ボタンを押す度に、インジケータの表示と共にプリントサイズが切り替わります。

プリントサイズを選んだ後で、他のいずれかのボタンを押すと、選択したプリントサイズが記憶されます。



ラージ 1.5 またはラージ 1.7 を選択し、CONT の 、 ボタンを押すと、印画面のセンター位置を調節することができます。

お知らせ

横 (スモール) またはノーマル (スモール) をプリントする場合は、“ PRINT ” ボタンを 2 回押してください。1 回押すと、1 番目の画像がメモリーされます。もう 1 回押すと 2 番目の画像がメモリーされて、自動的に両方の画像をプリントします。

設定のリセット

ブライツネス、コントラスト、ガンマカーブ、プリントサイズの設定をリセットすることができます。

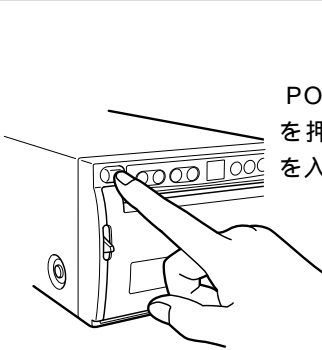
- 1 電源を切る。
- 2 PRT-SIZE ボタンと GAMMA ボタンを押しながら電源を入れる。
- 3 LED 表示が から に変わり、設定がリセットされます。

ボタンのロック

フロントボタン (BRT、CONT、PRT-SIZE、GAMMA) の設定をロックすることができます。

ロックするには (ブライトボタンの場合)

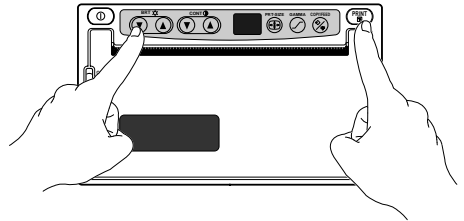
1 電源を入れる。



POWER ボタン
を押して、電源
を入れます。

2 ブライト (BRT) の設定をロックする。

ブライト (BRT) の または ボタンを押しながら、PRINT ボタンを “ ピッ ” と音が鳴るまで約3秒間押し続けてください。
ボタンの設定がロックされます。



電源を切ってもロックは解除されません。

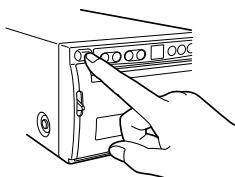
ロックを解除するには

ロック解除したいボタンを押しながら、PRINT ボタンを “ ピッ ” と音が鳴るまで約3秒間押し続けてください。
ロックが解除されます。

設定値/累積印画枚数の印字

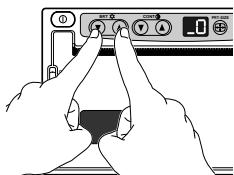
BRT、CONT、GAMMAの設定値又は、累積印画枚数をプリントに印字することができます。

1 電源を入れる。



POWER ボタンを押して、電源を入れます。

2 印字するための設定をする。



BRTの ボタンを押しながら、BRTの ボタンを“ピッ”と音が鳴るまで約3秒間押し続けてください。

インジケーターに“_1”と表示されます。

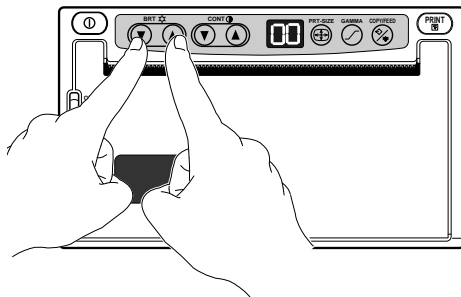
CONTの または ボタンを押して、印字するかどうかを選択して下さい。

モード	インジケーター
印字しない	_0
設定値を印字する	_1
累積印画枚数を印字する	_2

3 待機状態に戻す。

BRTの ボタンを押しながら、BRTの ボタンを“ピッ”と音が鳴るまで約3秒間押し続けてください。

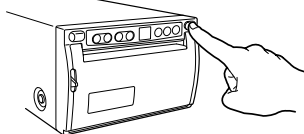
インジケーターに“00”と表示されません。



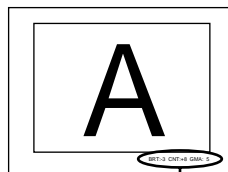
4 プリントする。

PRINTボタンを押します。

プリントのしかたは12～13ページをぐらんどください。




例





設定値または累積印画枚数


電源を切っても設定したモードのままになっています。


本機になんらかの異常が生じたときは警告音を出したりインジケータにエラー表示を出します。

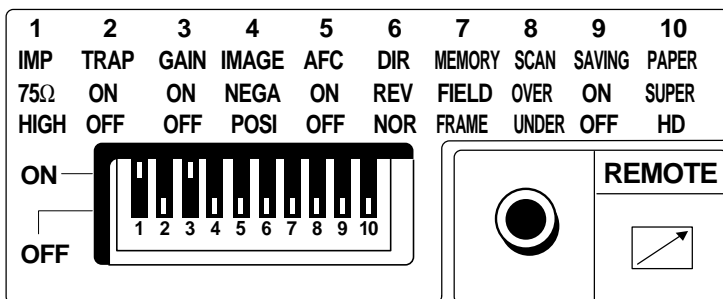
原因/エラー表示	症状/処置のしかた
①紙なし 	【症 状】 プリント中に記録紙がなくなったり、記録紙が装着されていないと、プリントできなくなり、警告音(ピッピー)が一度鳴ります。 【紙なしの処理】 9・10ページの“4 記録紙の入れかた”にしたがって、新しい記録紙をとりつけてください。

原因/エラー表示	症状/処置のしかた
②オーバーヒート 	【症 状】 本体内部のヘッド温度が高くなりすぎたときに、インジケータに“EH”が表示されます。この場合、すべてのボタン操作は無効になります。 【オーバーヒートの処理】 温度が下がるまで、しばらくお待ちください。

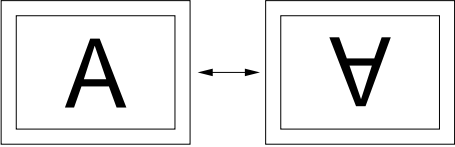
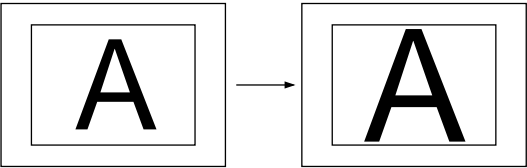
原因/エラー表示	症 状
③ボタン入力エラー 	次のようなボタン操作をしたとき、警告音(ピッピー)が一度鳴ります。 インジケータは“Eb”が1秒間表示され、このボタン操作は無効になります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ブライト、コントラスト設定中に、設定範囲をオーバーして、“ ” “ ” ボタンを押したとき。 ・ コピー枚数設定中に上限値をオーバーしてCOPY/FEEDボタンを押したとき。 ・ 電源を入れた後、最初にCOPY/FEEDボタンを押したとき。

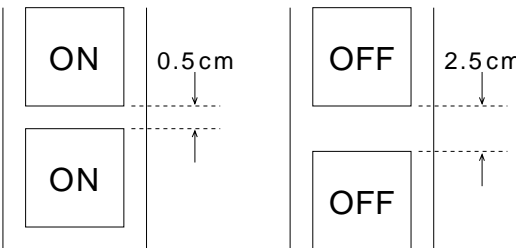
原因/エラー表示	症状/処置のしかた
④ ドアエラー 	【症 状】 ドアが開けられると警告音（ピッピー）が一度鳴ります。
	【ドアエラーの処理】 ドアを閉めてください。 ドアエラーは解除されます。

原因/エラー表示	症状/処置のしかた
⑤ ギアロックエラー 	【症 状】 プリント終了後、ヘッドが自動的に上がらなかった場合、警告音（ピッピー）が一度鳴ります。 インジケータは“ <i>EL</i> ”が表示され、すべてのボタン操作は無効になります。
	【ギアロックエラーの処理】 一度電源を切り、再度電源を入れてください。



MODEスイッチ (DIPスイッチ)	機 能
① IMP. (IMPEDANCE) 75 /HIGH	通常は“75”側にセットします。 VIDEO IN コネクターにモニターなどの他の機器を分岐接続するときは、“HIGH”側にセットします。
② TRAP ON/OFF	“ON”側にセットすると、トラップ回路がはたらきます。 “OFF”側にセットするとトラップは無効となります。 通常は“OFF”側にセットします。
③ GAIN ON/OFF	通常は“ON”側にセットします。 “OFF”側にセットすると、映像のコントラストが低くなります。
④ IMAGE NEGA/POSI	NEGA : 画面表示とは反対の白黒反転(ネガ) プリントができます。 POSI : 画面表示どおりの通常(ポジ) プリントができます。 <div style="text-align: center;"> <p>POSI. NEGA.</p> </div>

MODEスイッチ (DIPスイッチ)	機 能
⑤ AFC ON/OFF	<p>通常は“ OFF ”側にセットします。 ビデオなどを接続、再生するときに“ ON ”にセットすると、 画質がよくなる場合があります。</p>
⑥ DIR. (DIRECTION) REV/NOR	<p>NOR: 画面表示と同じ方向からプリントアウトされます。 REV: 画面表示とは逆 180度回転した方向でプリントアウトされます。 この機能はプリントサイズが横、横(スモール)またはラージ(×1.5/×1.7)に設定されているときは無効です。</p> <div style="text-align: center;">  <p>NOR REV</p> </div>
⑦ MEMORY FIELD/FRAME	<p>FRAME: 通常は“ FRAME ”側にセットします。 FIELD: 動きの速い画面をプリントするときは“ FIELD ”側にセットします。 この場合、プリント画面の垂直解像度はFRAMEのときの1/2になります。</p> <p>通常、モニター画像は2枚のフィールド画像が合成され、1枚のフレーム画像が映しだされています。</p>
⑧ SCAN OVER/UNDER	<p>UNDER: 通常は“ UNDER ”に設定してください。 OVER: プリント範囲を小さくするときは“ OVER ”に設定してください。</p> <div style="text-align: center;">  <p>UNDER OVER</p> </div>

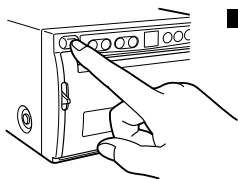
MODEスイッチ (DIPスイッチ)	機 能						
<p>⑨ SAVING (PAPER SAVING) ON/OFF</p>	<p>プリントの紙送り幅を選べます。 ON：狭い紙送り幅 OFF：通常の紙送り幅</p>  <p style="text-align: center;">狭い送り幅 通常の送り幅</p>						
<p>⑩ PAPER SUPER/HD</p>	<p>使用する記録紙にあわせて、以下の様に設定します。</p> <table border="1" data-bbox="362 855 938 970"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>記録紙</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SUPER</td> <td>K61S-CE</td> </tr> <tr> <td>H.D.</td> <td>K65H-CE、K65HM-CE、K91HG-CE</td> </tr> </tbody> </table>	設定	記録紙	SUPER	K61S-CE	H.D.	K65H-CE、K65HM-CE、K91HG-CE
設定	記録紙						
SUPER	K61S-CE						
H.D.	K65H-CE、K65HM-CE、K91HG-CE						

11 状態 / モード一覧表

本機の状態 / モード	LED表示		右側のLED表示 の内容	映像出力
	左	中点と右		
電源OFF			電源 OFF	スルー
待機状態	0	0	スモールサイズ以外	スルー
	0	o	スモールサイズ 1 画面目	
	0	,	スモールサイズ 2 画面目	
プリント状態	-	-	プリント状態	スルー
コピー状態	[1 ~ 9	コピー残量数	スルー
ブライトネス調節モード	b	.9 ~ 9	輝度指数	モニタ
コントラスト調節モード	c	.9 ~ 9	コントラスト指数	モニタ
カーブ設定モード	f	1 ~ 5 6	カーブ No. ネガプリント	スルー
プリントサイズ設定モード	5	n [n ε 5	ノーマル 横 ノーマル (スモール) 横 (スモール) アスペクト 1 : 1	スルー
	l	.5 .7	ラージ 1.5 ラージ 1.7	
エラー検出状態	E	H P b o L	オーバーヒート 紙なし ボタン入力エラー ドア開 ギアロックエラー	スルー

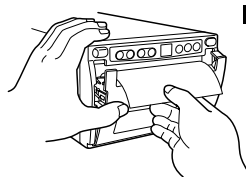
サーマルヘッドがゴミやほこり、手の脂、汗等で汚れるとプリントした画面上に雨だれ模様や白い縦線等の出る場合があります。このような場合には以下の手順で添付のクリーニングペーパーを使ってヘッドのクリーニングをしてください。

1 電源を入れる



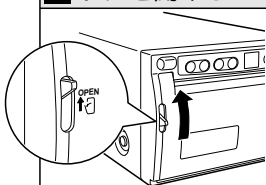
■ “POWER” ボタンを押して、電源を入れます。

4 ドアを閉める



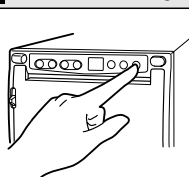
■ クリーニングペーパーを入れたまま、ドアを閉めます。

2 ドアを開ける



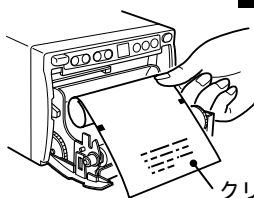
■ 左側のレバーを“OPEN”の位置に押し上げます。
ドアが開きます。

5 COPY/FEEDボタンを押す



■ ビーと音が鳴るまで“COPY/FEED”ボタンを押し続けます。

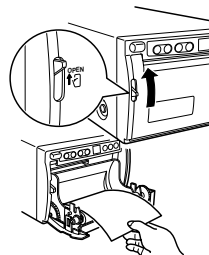
3 クリーニングペーパーを入れる



■ クリーニングペーパーを丸め、セット内部に入れます。

クリーニングペーパー

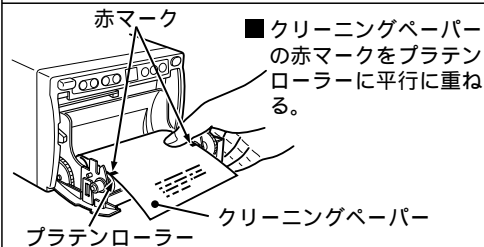
6 クリーニングペーパーを取り出す



■ ドアを開けます。

■ クリーニングペーパーを取り出します。

■ ドアを閉めたままクリーニングペーパーを手で引き出さないでください。



■ クリーニングペーパーの赤マークをプラテンローラーに平行に重ねる。

クリーニングペーパー
プラテンローラー

7 3-6を2、3回くりかえしたあと、1、2枚プリントして効果を確認めます。

ご注意: クリーニングペーパーの使用のめやすとしては感熱記録紙10巻に1回程度としてください。クリーニングペーパーを使用しても症状が改善されない場合は、修理が必要ですので販売店へお問い合わせください。このクリーニングペーパーは、サーマルヘッドのクリーニング用ですので、他の用途に使用しないでください。紙、またはクリーニングペーパーをドアを開けたまま手で引き出さないでください。故障の原因となります。

付属品以外のクリーニングペーパーを使用しないで下さい。ヘッドに悪影響をおよぼすことがあります。

13 お手入れ

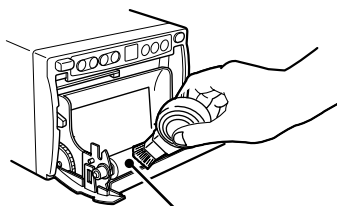
お手入れの際は電源を切ってください。

本体のお手入れ

本機の前面パネル部分の汚れは柔かい布でふいてください。
汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

ゴムローラーのお手入れ

ゴムローラーにゴミやほこりが付着したままになった場合はプリントされない部分が出ることがあります。
この場合はゴムローラーに付着したゴミやほこりをブローアーブラシ等で取りのぞいてください。



ゴムローラー

サーマルヘッドのクリーニング

サーマルヘッドがゴミやほこり等で汚れますとプリントした画面上に雨だれ模様や白い縦線等が出る場合があります。
この場合には“クリーニングペーパーの使いかた”に従ってサーマルヘッドをクリーニングしてください。

種	類	ビデオコピープロセッサ
形	名	P91
電	源	AC100V 50/60Hz
消費電力		110W (標準カラーバー信号)
接続端子		ビデオ入力端子 (BNC形接栓) ビデオ出力端子 (BNC形接栓) ワイヤードリモコン端子 (ステレオミニジャック) AC電源入力端子3P
解像度		水平1022ピクセル×垂直500ライン (アンダースキャン) (NTSC) 水平1022ピクセル×垂直600ライン (アンダースキャン) (PAL)
階調		256階調
プリント速度		4.7秒 (NTSC アンダースキャン)
プリントサイズ		100mm×75mm (標準)
使用環境条件		温度5 ~ 40 湿度35% ~ 80%RH (結露なし)
外形寸法		幅15.4cm×高さ9.75cm×奥行30cm
質量		3.3kg
付属品		BNC/BNC形接続ケーブル (2m) 1本 AC電源コード 1本 感熱記録紙 K91HG-CE..... 1巻 ワイヤードリモコン 1個 クリーニングペーパー 1枚 ACプラグ2P変換アダプタ..... 1個
別売品		感熱記録紙 K61S-CE、K65H-CE、K65HM-CE、K91HG-CE

仕様および外観は改良のため変更することがあります。

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書は販売店でお渡しいたしますから所定事項の記入および記載内容をご確認いただきたいせつに保存してください。
保証期間は次のとおりです。

本	体	：お買上げの日から1年間
サーマルヘッド	：お買上げの日から6ヶ月間	(ただし、累積印画枚数2万枚以内)

保証書の記載内容によりお買上げ販売店が修理いたします。
その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客さまの要望により有料修理いたします。

なお保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店へお問合わせください。

本機を使用中に万一発生した故障等の不具合により、プリントされなかった内容の補償についてはご容赦願います。

INTERNET-INFORMATION この製品に関する詳細情報、使用応用例などを、wwwサーバでもご提供しています。

<http://www.vcp.melco.co.jp/>

技術的なお問い合わせは三菱カラープリンタテクニカルセンターへ。

☎ 0120-710-391 (フリーダイヤル)

受付時間 / AM9:00 ~ 12:00・PM1:00 ~ 5:00
(土、日、祭日を除く)

FAX 075-325-4195

E-mail pep-m@mbox.kyoto-inet.or.jp

愛情点検

長年ご使用の三菱ビデオコピープロセッサの点検をぜひ！

(熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により商品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。)



このような
症状は
ありませんか

電源コード、プラグが非常に熱い。
コゲくさい臭いがする。
製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
電源スイッチを入れても、
映像が出ない。
その他の異常・故障がある。

ご使用
中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ビデオコピープロセッサの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切後8年です。

 三菱電機株式会社

京都製作所 〒617-8550 京都府長岡京市馬場図所1番地

871C959D0